

店長昇格試験においてAI面接サービスSHaiNを活用 ～松屋フーズホールディングスを実現した迅速、的確な人員配置の事例を紹介～

株式会社タレントアンドアセスメント（本社：東京都港区、代表取締役：山崎俊明、以下タレントアンドアセスメント）は、株式会社松屋フーズホールディングス（本社：東京都武蔵野市、代表取締役社長：瓦葺一利、以下松屋フーズ）の店長昇格試験における、対話型AI面接サービスSHaiN（以下、SHaiN）の導入事例記事を公開しております。

店長昇格試験での導入効果が得られたことにより、現在では、店長候補の昇格試験にも導入いただいております。



■松屋フーズホールディングス導入事例～抜粋～ (<https://shain-ai.jp/matsuyafoods/>)

1. 各所で行われる面接の評価、全体の統一感が得にくいという課題

松屋フーズの店長昇格試験は年2回、会場となる東京と大阪の2拠点に、30～40名の店長候補者と、面接官となる各部門の本部長や系列カンパニーの社長らを集め1日かかりで実施していた。「一番の課題となっていたのは評価の部分です。どうしても評価基準が異なってしまう、全体的な納得感や統一感が得にくいという点でした」

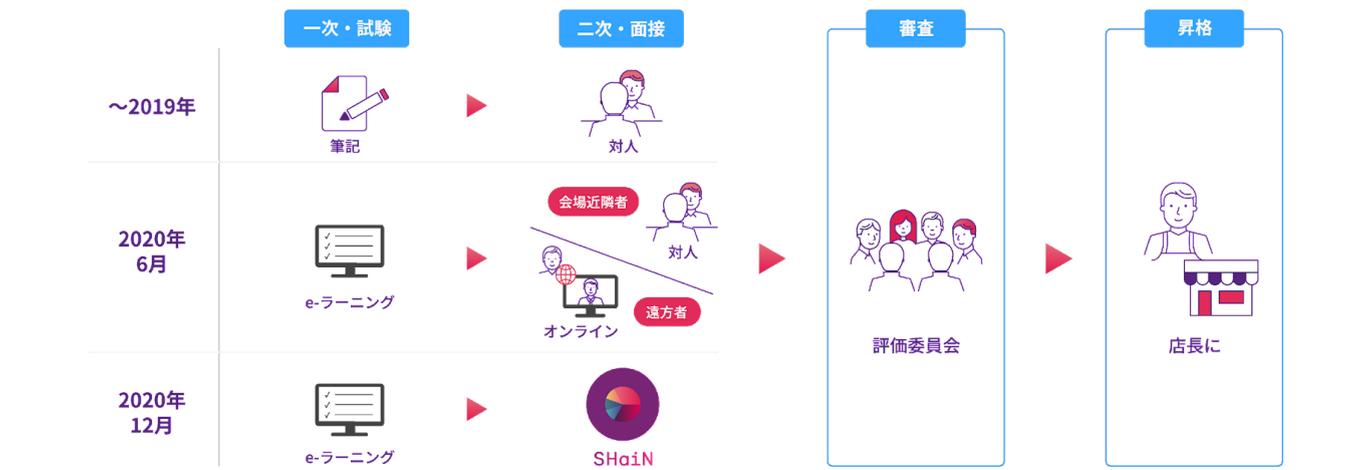
2. 店長に必要な資質を定義。昇格可否の理由も明確に

「トライアルで受検した3名の面接評価レポートを見たところ、よく言い当てていましたね。松屋フーズの店長へ求める人材像に沿って、どのような資質を持っている人が適任かを仮定し、面接終了後にもタレントアンドアセスメントのサポートを受けながら、基準を決めていきました」

最終的な昇進可否を決める評価委員会では、面接評価レポートを元に取りまとめた資料から「時代もここまで来たんだね」と好意的に受け止められたという。「これまでは評価を裏付ける明確な理由が見えづらかった。それが同じ基準で評価が可視化できるようになったことが画期的で、業務効率は非常に上がりました。移動費などの経費においても少しプラスです」

3. 企業の原動力は人。SHaiNを一人ひとりの成長に活かしていく

SHaiNには、面接評価のバラツキがない、面接エビデンスがしっかり残る、フィードバックも的確にできる、人事の業務効率も向上する、といった多くのメリットがあり、来期からも使っていく予定だという。「SHaiNの利用回数を重ねることで面接評価レポートを読み取る力を上げ、より候補者への理解を深めたい」という期待もある。松屋フーズホールディングスが掲げる企業価値向上の原動力は「人」。自社で働く人材と中長期的な視野に立つ人事制度により、一人ひとりが店舗で何を学び・経験していくのか。昇格試験にSHaiNを活用することでその成長を見届けていくとともに、さらなる「お客様に喜ばれる店づくり」を目指す。



本件に関するお問合せ先：株式会社タレントアンドアセスメント IR・広報戦略担当

TEL 03-4233-7422 / E-MAIL pr@talentandassessment.com

(1/2)

■対話型AI面接サービス SHaiNとは (<https://shain-ai.jp/>)

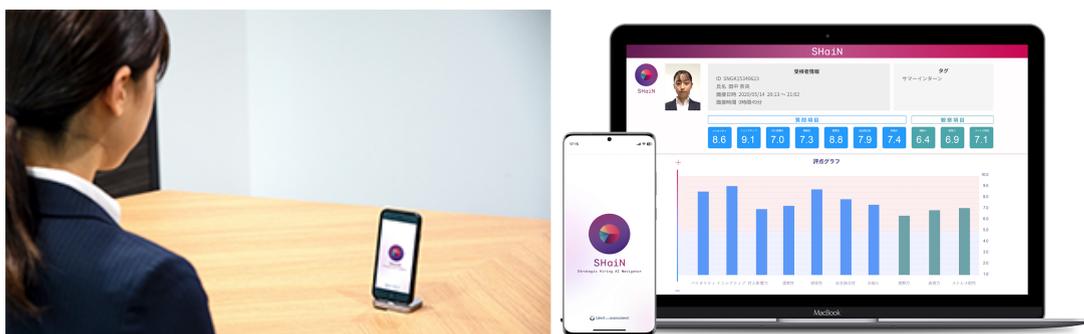
タレントアンドアセスメントが開発した戦略採用メソッドをもとに、人間の代わりにAIが面接を実施することで、人間が行う面接で課題視されてきた評価のばらつきが改善され、合否基準の統一、先入観のない公平公正な選考を実現します。

受検者はスマートフォンやタブレットを利用し、非対面・非接触で24時間365日、いつでもどの場所でもAIと対話しながら面接を行うことができ、日程による選考辞退などの機会損失を減らせるようになります。また企業側は面接評価レポートなどを参考に、採用可否だけでなく、対面の面接時には候補者ごとに適した質問の投げかけや、特徴に合わせた動機付けとして活用することができます。

これまでもSHaiNは「遠隔地受検者への面接機会の提供」「面接評価レポートの有効活用」「面接工数の削減」などの部分が評価され、2023年12月末時点で470社以上の企業様にご利用いただいております。

当社はSHaiNを通じて、学歴や性別、国籍に関係なく公平公正に評価される時代への一歩として、持続可能な開発目標SDGsの「ジェンダー平等を実現しよう」「人や国の不平等をなくそう」を推進しています。

また、SHaiN面接評価レポートは導入企業1800社（2024年1月時点）を超えるThinkings株式会社が運営する採用管理システム「sonar ATS」と連携しており、候補者データを一元管理することで、採用業務に関わる煩雑な業務の効率化を実現しています。



■株式会社松屋フーズホールディングス (<https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp/>)

所在地 東京都武蔵野市中町1-14-5
代表者 代表取締役社長 瓦葺一利
設立 1980年1月
資本金 66億5,593万円 2023年3月期
事業内容 飲食事業を中心とするグループ会社の経営管理

■株式会社タレントアンドアセスメント (<https://www.taleasse.co.jp/>)

所在地 東京都港区虎ノ門 4-1-1 神谷町トラストタワー23F
代表者 代表取締役 山崎俊明
設立 2014年10月
資本金 5億2,180万円（資本準備金等を含む）
事業内容 AI面接サービスSHaiNを主軸とした採用コンサルティング事業の展開